学位プログラム：建築工学　カリキュラムマップ（地球総合工学専攻　建築工学コース）

学習目標	教育目標との関連性				博士前期課程								博士後期課程					
					1年				2年				1年				2年	3年
	最先端かつ高度な専門性と深い学識	高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期		
建築家あるいは建築技術者にふさわしい高い識見を身につけている。		○	○		専門共通科目 フューチャー・デザイン 専門共通科目／ 高度国際性涵養教育科目 地球総合工学特論 高度教養教育科目	修士論文							研究指導・博士論文					
建築・都市に関して、計画・意匠、力学・構造、環境・設備のいずれかまたは複数の分野における最先端で高度な専門知識を身につけている。	○			○	専門各論科目 建築工学特別講義Ⅰ 建築工学特別講義Ⅱ 計画・意匠 環境行動論 地域施設整備論 集落・都市のコンテクスチャルデザイン 空間デザイン手法論 建築マネジメント論 建築・都市デザインA Advanced Studies for Architectural and Urban Design 建築・都市デザインB 力学・構造 地盤基礎設計工学 地盤基礎設計工学演習 建築構造設計特論 鋼構造性能評価工学 鋼構造性能評価工学演習 鉄筋コンクリート構造設計演習 建築力学特論 建築力学特論演習 鉄筋コンクリート構造学特論 鉄筋コンクリート構造学特論演習 鋼構造設計工学 鋼構造設計工学演習 環境・設備 建築衛生学 建築設備設計論 建築環境設計論 建築環境物理学 建築環境測定実習 建築設備設計演習 建築環境デザイン演習								専門各論科目 計画・意匠 環境行動特論 建築人間工学特論 建築空間生理学 建築・都市計画特論 地域施設計画特論 建築形態工学特論 力学・構造 建築耐震解析 コンクリート工学特論 鋼構造設計工学特論 地震防災論 構造開発工学特論 鋼構造性能評価工学特論 環境・設備 建築環境物理学特論 建築環境制御学					
自ら設定した課題について解決策を考察できる能力を身につけている。	○			○	専門科目（ゼミナール、インターンシップ科目） 建築工学ゼミナールⅠ　建築工学ゼミナールⅡ　建築工学ゼミナールⅢ　建築工学ゼミナールⅣ 建築設計インターンシップA　建築設計インターンシップB 建築設計インターンシップC　建築設計インターンシップD													
課題を理解し、解決策を建築・都市の設計としてまとめる能力、または論文としてまとめる能力を身につけている。	○	○	○	○	高度国際性涵養教育科目 工学系海外インターンシップⅠ 工学系海外インターンシップⅡ 工学系海外インターンシップⅢ													
自らの考えや解決策を論理的に伝える国際コミュニケーション能力を身につけている。		○	○		高度国際性涵養教育科目 工学英語Ⅰ　工学英語Ⅱ													